

# 情報連絡員報告総括表(平成29年8月分)

三重県中小企業団体中央会  
 連絡員総数 40名  
 回答数 40名 (100%)

業界の景気動向(前年同月比)

	売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 <small>(臨時・パートを含む)</small>			業界景況					
	増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少	上 昇	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	上 昇	不 変	悪 化	増 加	不 変	減 少	好 転	不 変	悪 化			
製 造 業	食 料 品		3	1		4		1	3			4			3	1			3	1			4			4			2	2
	織 維 工 業		2	1		3			3			3			3				3				3			3			3	
	木 材 ・ 木 製 品			1		1			1			1			1				1				1						1	
	紙 ・ 紙 加 工 品		2			2		1	1			2		1		1			2				1	1		1	1	1		1
	印 刷		1			1			1			1			1				1				1				1			1
	化 学 ・ ゴ ム																													
	窯 業 ・ 土 石 製 品	2	1			3			3			3			3				3			1	2			3			3	
	鉄 鋼 ・ 金 属	1				1			1			1			1				1			1				1			1	
	一 般 機 器	2	1			2	1		3		1	2		2	1				3			2	1			2	1			3
	電 気 機 器	1				1			1			1			1				1			1				1			1	
	輸 送 機 器	1				1			1			1			1				1			1				1			1	
そ の 他																														
小 計	7	10	3		19	1	2	18		1	18	1	3	14	3			19	1	6	12	2	4	15	1	3	13	4		
非 製 造 業	卸 売 業		1	1		1	1		1	1		2		1	1			2					2				1	1		
	小 売 業	1	2	3		6		2	4			4	2		3	3		3	3				5	1		3	3			
	商 店 街	1			1			1				1			1			1				1				1				
	サ ー ビ ス 業		2	3					5			5			2	3			3	2			5				3	2		
	建 設 業	1	2	1				1	3			4		1	3			1	3				4			1	3			
	運 輸 業		1						1			1			1				1				1			1				
	そ の 他		1						1			1			1				1				1			1				
小 計	3	9	8	1	7	1	4	15	1		18	2	1	12	7	1	14	5				1	18	1	1	13	6			
合 計	10	19	11	1	26	2	6	33	1	1	36	3	4	26	10	1	33	6	6	12	2	5	33	2	4	26	10			

## 最近の主要指標の前年同月比D Iの推移

(平成28年8月～平成29年8月)

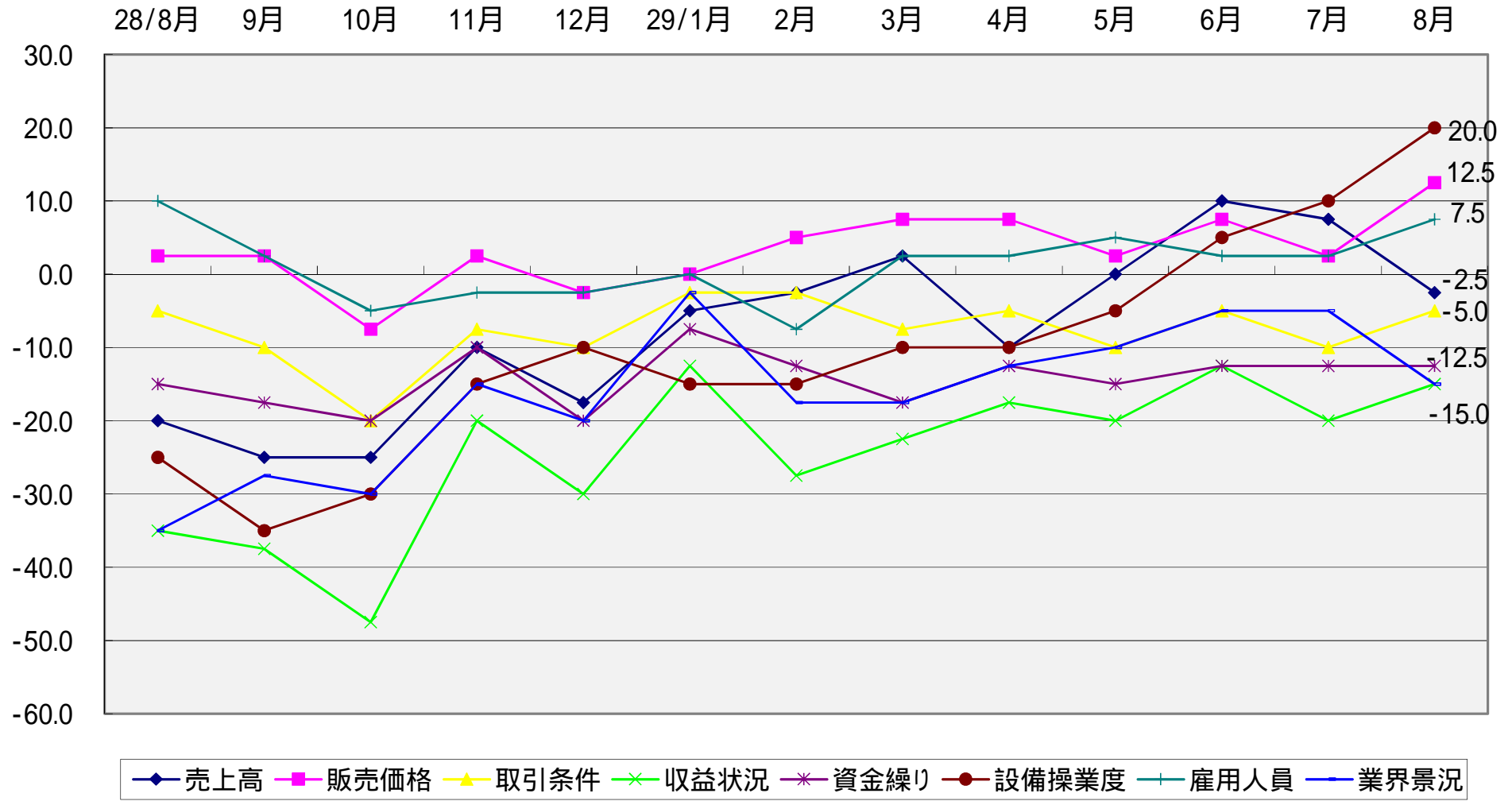
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	28/8月	9月	10月	11月	12月	29/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	増減
売上高	-20.0	-25.0	-25.0	-10.0	-17.5	-5.0	-2.5	2.5	-10.0	0.0	10.0	7.5	-2.5	-10.0
販売価格	2.5	2.5	-7.5	2.5	-2.5	0.0	5.0	7.5	7.5	2.5	7.5	2.5	12.5	10.0
取引条件	-5.0	-10.0	-20.0	-7.5	-10.0	-2.5	-2.5	-7.5	-5.0	-10.0	-5.0	-10.0	-5.0	5.0
収益状況	-35.0	-37.5	-47.5	-20.0	-30.0	-12.5	-27.5	-22.5	-17.5	-20.0	-12.5	-20.0	-15.0	5.0
資金繰り	-15.0	-17.5	-20.0	-10.0	-20.0	-7.5	-12.5	-17.5	-12.5	-15.0	-12.5	-12.5	-12.5	0.0
設備操業度	-25.0	-35.0	-30.0	-15.0	-10.0	-15.0	-15.0	-10.0	-10.0	-5.0	5.0	10.0	20.0	10.0
雇用人員	10.0	2.5	-5.0	-2.5	-2.5	0.0	-7.5	2.5	2.5	5.0	2.5	2.5	7.5	5.0
業界景況	-35.0	-27.5	-30.0	-15.0	-20.0	-2.5	-17.5	-17.5	-12.5	-10.0	-5.0	-5.0	-15.0	-10.0

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

### 最近の主要指標の前年同月比DIの推移



情報連絡一覧票 (三重県中小企業団体中央会・平成29年8月分)

	集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
製造業	食料品	漬物	生産動向はごくわずかであるが増加した。このうち、塩漬類、醤油漬類等は減少しているものの、酢漬類、浅漬類、糖漬類が増加して相殺傾向を示した。特に伊勢たくあんをはじめ、たくあん類の伸びは、やや増加しており、昔ながらの生活感と風味、歯ごたえと賞味期限の長さ、量目の多さなどのため、格安感が好まれたものと思われる。
		醤油味噌	10月1日は醤油の日記念「ふるさとのしょうゆプレゼント」では、三重県からは7社22セット（全国では839セット）を当選者にプレゼントする。10月13日（金）～15日（日）まで、イオン東員店で「三重しょうゆ街道」を開催する。三重県の街道にあるしょうゆ蔵でできたしょうゆなどの展示、味くらべ、即売会を実施する。
		豆腐	今年の8月は非常に気温が高い日が続き、豆腐の売れ行きは好調であった。
		製麺	8月26日、27日 U-1うどん天下決定戦東京代々木公園内イベント会場にて開催された。夏の暑い時期にもかかわらず温かい伊勢うどんを提供し、2,100杯程販売した。上位7位までには入れなかったが、盛夏の中、多くの方々に伊勢うどんを食べて知って頂くことができた。今年はおおさ伊勢うどんを提供した。
	紙・紙加工品	紙器段ボール	段ボール原紙の値上げが浸透し、段ボールシートや段ボールケースの値上げのアナウンスが多くなってきた。段ボール製品では、15%ぐらいの値上げが各メーカーより提示があった。仕事量は昨年並みか、少しマイナスの状況である。
		古紙	8月期の仕入量は、前年比で段ボール：約98±4%、チラシ：約93±3%、雑誌・雑紙・その他合わせて：約95±3%の中で推移している。仕入先によって日照不足でも夏物の需要はあったようである。原紙の生産量も板紙の紙段ボール原紙は前年より伸び、新聞や雑誌の紙類は減少している。7月の製紙原料等の大手資材購入会社より、購入古紙基準価格改定のお知らせ（値上げ）があり、一部の段ボール原紙製造会社は原紙の値上げを打ち出している。8月の古紙輸出価格は大幅に下がったようで、関東地区の取引が出来なかったようである。持ち去り古紙の撲滅について、テレビ局の取材を受けた。未だに持ち去り古紙は海外にも国内にも取引され、流通しているようである。業界新聞の記事に全国都市清掃会議が自民党・環境省・経済産業省に持ち去り古紙問題法整備などを含む43項目の要望書を出されたとのことである。
	印刷	印刷	今年も自民党、新政みえに県出納局を交えて、三重県の入札について要望した。今回は入札仕様書の不明確な内容の徹底や仕様変更時の交渉、地域発注の検討などの要望と著作権に関して歩みよれるよう勉強会の開催を提案した。また、最近多く見られる印刷設備を持たず、県外へ外注する印刷業者に対する入札制限は、出納局より困難であるとの回答があった。
	窯業・土石製品	伊賀焼	大きな変化はないが、8月は関東方面からの来館者が多く、売上も伸びた。伊賀焼伝統産業会館、伊賀・信楽古陶館とも入館者、売上両方が昨年を上回った。
	鉄鋼・金属	鍍金	当業界の生産量は自動車関連は7月に比べ若干の伸び、その他の製品に関しては相変わらず少品種、小ロットで数量的にはほぼ横ばいであった。また、電機機器関連製品もほぼ同様であった。半導体関連部品は、7月よりも増加傾向にあり、新たな加工先を模索している状況があり、更に増加傾向にあるとみられる。
	一般機器	四日市	景況に明るさが見られ、各社各様に仕事をこなしている。少子化に向かい人口減少傾向が見られる中、有効求人倍率はリーマンショック前の高水準に戻ってきた。
伊勢		障がい者雇用で平成30年4月から法定雇用率が引き上げられが、従業員数が増加しているため、法定雇用率の対応にも苦慮している。ハローワーク、地域障害者職業センター、障害者就業・生活支援センターなどの公的な相談・支援機関とも連携の上、障がい者の雇用確保に努めると共に、長期に亘って勤務いただけるよう、働きやすい職場環境作りを努めていきたい。	
電気機器	鳥羽	長い盆休みがあり、動きもゆっくりとしている。一休みしながらも受注はやや好調である。	
輸送機器	鈴鹿	例年のこの時期と比べると繁忙である。夏季休暇があり、稼働日数が少ないにもかかわらず通常月を上回る出荷数となった軽自動車向け部品もあった。今後2か月間の内示数も比較的多くなっている。	
非製造業	小売業	青果	野菜：前半は全般的に安値が続いている。中でもキャベツ、白菜、レタスは例年より4割程安く、キュウリ、トマトも安定的に入荷した。後半は日照不足や雨の影響で全体的に高値で、安値が続いていたキャベツ、白菜、レタスも高かった。玉ねぎ、ジャガイモは北海道産が安定して入荷した。果物：前半はお盆のお供え物や土産用の需要が多く、ハウスみかん、巨峰、ピオーネ、幸水が高値であった。後半はお値打ち価格で西瓜は余り気味。モモも入荷が増えお盆前より4割程安い。地場産の幸水梨は味も良くお買い得である。リンゴは新物のシナノレッド、サンつがるが入荷した。
		自転車	上旬に商品を注文したにも関わらず、生産待ち等の理由でメーカーからの出庫が遅くなり、大企業の長期の盆休み（11日～20日）と重なり、運送会社が動かなかった日もあって、商品の流通が乱れ、下旬になって入荷が重なった。我々組合員も高齢者が多く、体力的にも作業困難な状態である。売上に関しては前年比で商品・部品が-20%、修理部門-30%となった。このような状況下大型チェーン店においても店を開めるところが出始めている。

非製造業	小売業	電器	8月は連日の猛暑の影響により、エアコンが好調に推移した。特に買換え需要がほとんどで、付加価値の高い商品への需要が増えた。また、リフォーム需要も顕著な動きをしている。全体的には販売は横ばいの見通しである。夏商戦終了後は基本活動として、お客様訪問活動の積極展開を推進する。
		石油	全国的に異常気象による豪雨や台風5号の長期停滞の影響により、各地域で燃料販売が厳しい状況で推移した。三重県は猛暑日が続いた影響により燃料販売については前年対比102%前後であった。収益については先月同様に厳しい状況が続いているのが現状である。毎年ハイブリッド車や低燃費車が増えてきているが、車両点検整備を行う場合は、低圧電気取扱の特別講習を受ける必要があり、組合員の給油所メンバーについては毎年多くの人が組合主催の特別講習を受講し、整備点検を行っている。
		スポーツ	9月は運動会のシーズンであり、各学校から運動会に必要な備品の注文が続いている。新チーム結成によるユニホームの受注や冬に向けてのウィンドブレーカーの注文も始まる。
	商店街	熊野	今年で22回目を迎えた和太鼓フェスは、大勢の観客で賑わい、同時開催された物産展も盛況だった。また17日に開催された熊野花火大会に併せ、同商店街内で開催された「郷土くまの物産展」は昨年から取り組まれた臨時駐車場利用の先着1,000台に対し、物産展で使用できる500円のお買物券を今年も発行し、大いに賑わいをみせた。
	サービス業	旅館	今年の夏は天候に恵まれず、全国的に海も山も人手は少なかった。三重県も同様で最も賑わう8月初旬に台風5号の影響が数日続いたことと、夏らしい好天の日が少なかったため、海水浴場、遊園地のプール等アウトドアの施設は大幅に売上を落としていたようである。旅館・ホテルも天候による影響と2学期の始まりが早くなり、夏休みが短くなったこと等により、対前年比10%程度の減収となっていた。
		警備	今月は雨天と夏期休暇の影響で大幅に仕事量が減少した。
	建設業	内装工事業	8月はお盆休みもあり、例年売上は落ち込むが、今年は逆に増加となった。国の8月月例経済報告では「いざなぎ景気に並ぶ」とあったが、確かに一部では少なからず景況は回復している様子が伺えるが、別のところではまだまだ実感が乏しいのが現状だと思う。
水道工事業（四日市）		今月は特に目立った動きはなかった。ただ8月ということで暑さ対策にコストがかかり、収益面で影響を受けるケースがあった。	
運輸業	トラック	輸送の需要は横ばい状況である。	

### 行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	
食料品	製麺	毎月の定例会にてHACCPの勉強会を実施している。伊勢うどんの地域ブランドを協力体制で進めていく。今後とも協力をお願いしたい。
一般機器	四日市	外国に対する資金援助額が我が国は世界第4位だという。予算をもう少し中小企業に回してもらいたい。
小売業	スポーツ	ネット販売の会社（岐阜県）があるが、卸価格よりも安い価格でインターネットに掲載しており、県下の組合員が困っている。（軟式野球の規格が変わり、9月17日に発売になるが、発売前に35%割引で販売している。）
サービス業	旅館	県下各地とも集客が下降線をたどっている。この現状から脱却するため、官民あげて取り組むことが必要である。参考例として中部のある県（長野県）では、大手エージェントとのタイアップ、キャンペーンを組んで大きな成果を上げていると聞いている。